

様式第 3

会 議 録

会 議 名	令和 7 年度 第 2 回野田市消防委員会
議題及び議題 毎の公開又は 非公開の別	1 委員長及び副委員長の選出について 2 令和 7 年度第 1 回消防委員会における答申内容の現状 (報告) 3 消防団員募集 P R について (報告) 4 消防組織検討会について 5 その他 ※全て公開
日 時	令和 7 年 1 1 月 1 8 日 (火) 午前 1 0 時 0 0 分から 1 1 時 3 0 分まで
場 所	野田市役所 8 階 大会議室
出席委員氏名	隈本邦彦 (委員長)、深井芳人 (副委員長)、菅野透、木名瀬訓光、 伊藤節夫、横川栄子、須賀田慶子、五百川和家恵、駒崎文男、 青木邦夫、須田光浩、本登眞一
欠席委員氏名	山本和広、廣野喜之
事 務 局 等	鈴木有 (市長)、今村繁 (副市長)、石山哲士 (次長兼消防署 長)、吉川英雄 (参事兼予防課長)、藤井正則 (警防課長)、 中村隆之 (主幹兼消防副署長)、佐塚和昭 (警防課主幹兼課 長補佐)、柳厚志 (警防課副主幹兼消防係長)、秋山和幸 (予 防課課長補佐)、小澤弘雅 (消防総務課長)、齋藤誠 (消防総 務課課長補佐)、竹澤裕市 (消防総務課庶務係長)、井上淳一 (消防総務課主任主査)、田村雄一 (消防総務課主査)、高橋 優介 (消防総務課主事)
傍 聴 者	1 名
議 事	議事の概要は次のとおりである。 消防総務課長補佐 1 1 月 1 8 日午前 1 0 時、開会を宣言す る。 委嘱後初めての開催となるため、市長より委員への委嘱 状の交付を行う旨伝える。 <委員を代表し隈本委員が市長から委嘱状を受領する>

	<p>消防総務課長補佐 過半数委員の出席により本日の会議が成立することについて報告。</p> <p>会議の公開及び傍聴並びに会議録及び会議資料の公開について説明した。</p> <p>会議録作成のため録音機を使用すること、記録用の写真を撮影することについて了解を得た。</p> <p>会議資料について確認した後、市長の挨拶を求める。</p> <p>市長 <挨拶></p> <p>消防総務課長補佐 委嘱後、初めての委員会開催であるため、議事に入る前に委員及び事務局の紹介をする。</p> <p>議題1 委員長及び副委員長の選出について</p> <p>消防総務課長補佐 議事に当たり議長の選出を行うため、仮議長を市長に依頼する。</p> <p>市長 野田市消防委員会条例第5条第2項の規定に基づき、委員の互選により委員長を選出するため意見を伺う。</p> <p>委員 指名推選でよろしいか。</p> <p><異議なし></p> <p>市長 推薦を求める。</p> <p>委員 これまで委員長を務めていた隈本委員を推薦する。</p> <p><異議なし></p> <p>市長 隈本委員に委員長を決定し、仮議長を降りる。</p> <p>消防総務課長補佐 委員長に挨拶を求める。</p> <p>委員長 <挨拶></p> <p>副委員長についても委員の互選により選出するとなっているため意見を伺う。</p> <p>委員 指名推選でよろしいか。</p> <p><異議なし></p> <p>委員長 推薦を求める。</p> <p>委員 深井委員にお願いしたらどうか。</p> <p><異議なし></p> <p>委員長 深井委員に副委員長決定し、挨拶を求める。</p> <p>副委員長 <挨拶></p> <p>消防総務課長補佐 市長が公務により退席する旨説明する。</p> <p><市長退席></p>
--	--

	<p>議題 2 令和 7 年度第 1 回消防委員会における答申内容の現状（報告）</p> <p>委員長 <議題 2 について事務局に説明を求める></p> <p>消防総務課長 <資料に基づき議題 2 の内容を説明する></p> <p>委員長 年度末に辞める人が多いのは何か理由があるのか。</p> <p>消防総務課長 分団にもよりますが、2 年おきに役職が変わり、最後に分団長を 2 年やったら退団するといった流れが多い。</p> <p>私が所属していた分団でも、分団長までやったら退団という流れでした。</p> <p>年齢によるものもあり、長年かけて分団長まで務めたら交代というような形で抜ける。</p> <p>分団によっては辞める代わりに、新しい人を入団させて交代というところもありますが、探しても新しい団員が見つからず、長年活動した団員が退団するというケースが多いと感じております。</p> <p>ただ、分団によっては人がいないため、分団長までやられた方が、引き続き団員として活動しているところもございます。</p> <p>そういった関係で、年度末に退団される方が多いと感じております。</p> <p>委員長 何かもったいないですよ。年齢で区切るっていうのは。</p> <p>団長までやった人が団員に戻るのには何か問題があるのですか。</p> <p>消防総務課長 特に問題はありませんが、流れとして大体 15 年から 20 年ぐらいで辞められております。</p>
--	--

	<p>委員長 分団長として長く続き過ぎるのも問題があるのは理解しますが、分団長2年で辞めるという形が減少につながっているのであれば見直しをした方がいい気がします。</p> <p>何か減少につながる可能性はあるのでしょうか。委員でお詳しい方がいらっしゃれば。</p> <p>辞めていただきやすいみたいなのところがあるのでしょうか。</p> <p>委員 団員の活動が長くなっていて、皆20年30年とやらないといけない。下が育っていない問題もある。</p> <p>今団員に50代が増えていて、昔は、30代、40代ぐらいで、分団長だったのですけれど、50過ぎが大分増えて、下が入ってこないのをやめられない状態。</p> <p>分団長をやった後も、人数を減らしたくないので団員として下に入る分団も多いのですけれど、やっぱりもう無理だと言って辞める人もいるので、そういった人になかなか辞めるなとも言えないし難しいところですね。</p> <p>委員 かつては消防団を抜けた方を、OBとしての消防団を組織しよう。そういった全国的な動きがあったので、野田市もどうするか検討した経緯もありましたが、実情的に、一度分団長までやられた人がOBでというのは。</p> <p>どのぐらいまでの役割を担うとか、手当はどうするのか。諸問題が抱えてあったので、実現は難しいだろうと。</p> <p>団員の充実確保に努めていこうとなった経緯もあったように記憶しています。</p> <p>委員長 そういう経緯があった。</p> <p>いずれにしても、例えば辞められる時に別の人を推薦するみたいな、そういったことを強化していくというご検討をしていただければと思います。</p> <p>消防総務課長 ここ最近の傾向なのですが、資料の方に毎月の入団の人数を載せてありますが、消防団に入団したいという問い合わせがここ毎月いくつか、昨日もありまして、私、消防総務課で3年目になるのですが、今まであまり年</p>
--	---

	<p>度の途中で入団の問い合わせがそんなになかったなと感じていまして、それがここ最近は、「入団したいのですがどうすればいいか」、「ホームページを見て電話しました」とか、知り合いの紹介などではなく、「消防団に入りたいので教えてください」という問い合わせも増えてきておりまして、そういった意味では、ここ数年で見ると、団員が増えてくる兆しが見えているのかなと感じております。</p> <p>委員長＜ほかに質疑等あるか確認する＞ ＜意見なし＞</p> <p>委員長 報告を了承し、次の議題へ入る。</p> <p>議題３ 消防団員募PRについて（報告）</p> <p>委員長 ＜議題３について事務局に説明を求める＞</p> <p>消防総務課長 ＜資料に基づき議題３の内容を説明する＞</p> <p>委員長 ＜質疑等あるか確認する。＞ ＜意見なし＞</p> <p>委員長 東武バスに乗ったら柏市消防団員の募集を車内アナウンスでやっておりました。</p> <p>こういった取り組みを、野田市ではどのバスでやるのか、何か取り組んでいるものはありますか。</p> <p>消防総務課長 野田市ではまめバスというバスを運行しており、その中において、消防団PR等行う事ができます。野田市においても駅の自由通路などに消防団募集の掲載を行っておりますので、今後まめバス等あらゆるところでPRできるよう、今回募集PR用のキャラクターもできあがりましたので、どんどんPRしていきたいと思います。</p> <p>委員長 費用がどれくらいかかるかはわからないが、今の若者はスマートフォンしか見ていない、新聞も見っていないという状況ですが、SNSでの発信はどうなっていますか。</p>
--	---

	<p>消防総務課長 SNSは野田市の消防インスタグラム、消防団だけではないですけれども消防職員それから消防団についてのインスタグラムをやっておりまして、先日消防署のあげた投稿が44万回再生という数字を記録しまして、市のPR推進室にも確認しましたが、44万回という再生回数はかつてない数という、視聴数を出せました。</p> <p>インスタグラムで見て頂くときは「野田市消防職員の1日」というタイトルです。</p> <p>大変すごい数で伸びているということで、若者は確かにSNSを通じて見る機会が多いと思いますので、消防団に関するPR動画も、インスタグラムを通じてPRしていきたいと考えております。</p> <p>委員長 「消防職員の日」の「消防団員版」を是非作っていただいて、アピールしていただければと思います。</p> <p>委員長 <ほかに質疑等あるか確認する> <意見なし></p> <p>委員長 報告を了承し、次の議題へ入る。</p> <p>議題4 消防組織検討会について</p> <p>委員長 <議題4について事務局に説明を求める></p> <p>消防総務課長 <資料に基づき議題4の内容を説明する></p> <p>委員長 <質疑等あるか確認する。> <意見なし></p> <p>委員長 検討会のメンバーは引き続き、前と同じというか、少し入れ代わっているのですか。</p> <p>消防総務課長 資料の右側の備考欄に、新と書いてある人が今回入れ替わって新しくなった委員となります。</p> <p>なので、半分ほどの委員が新しくなっております。</p> <p>委員長 ではこの新メンバーも含めた今回の委員会名簿、そ</p>
--	---

	<p>して会長、副会長について当委員会として承認するという ことでよろしいか。</p> <p>委員＜はい＞</p> <p>委員長 事務局案について承認し、次の議題へ入る。</p> <p>その他</p> <p>委員長 ＜その他について事務局に説明を求める＞</p> <p>消防総務課長 その他といたしまして二点。</p> <p>一点目は本日の議題の中で、消防団員が４月１日以降現在まで増えているという説明をさせていただきましたが、例年、年度末に退団者数が入団者数を上回る傾向が続いております。</p> <p>分団によっては、５人以下となってしまう分団が１０分団ございます。</p> <p>団員数が少なくなると災害時に出動ができず消防団活動に支障が出てくることも想定されます。</p> <p>今後は分団の統廃合等についても、地元の自治会や分団と協議を進めていく必要があると考えておりますので、本日も承認いただきました消防組織検討会においても、議論しながら整い次第、委員会の方にも諮問させていただきたいと考えております。</p> <p>＜二点目、市役所駐車場の運用変更について事前配付資料を基に説明する。＞</p> <p>委員長 ＜質疑等あるか確認する。＞</p> <p>委員 消防団のことではないのですが、救急車のことで聞きたいのですが、様々な所で「来るのが遅い」「流山や柏の救急車が来たり、救急車を呼んだのに消防車まで来た。色々とどうなっているのか」と聞かれます。</p> <p>救急車が足りないのか、人が足りないのかとか、その点お聞きしたいのですが、お願いします。</p>
--	--

	<p>警防課長 救急車、消防車の出動についてですが、木名瀬委員がおっしゃいます救急車が来るまでが遅い場合、こちらは現在野田市は救急隊 7 隊で昼間の運用をしていますけれど、一時的に出動が重なりまして、全ての救急車が出払ってしまうなどの状況がございます。</p> <p>出動件数が増加していることもありますが、一時的に集中することは、件数が少ない日でもございます。</p> <p>そういうタイミングですと、救急車が市外の病院に搬送し、戻ってくるまでに時間がかかりますので、直近の署所の救急車が出動できないという状況がおき、遅延しているという実情がございます。</p> <p>日勤救急隊を 1 隊、令和 3 年 2 月から発足し、それによって多少の現着時間遅れに歯止めがかかっていると感じておりますが、年々増加していく救急車の対応については、まだまだ検討が必要と感じております。</p> <p>もう一つ、消防車が家に行くっていうお話もあったと思うのですが、P A 連携といいまして、救急車がすぐに向かえない場合は、近くの消防署の消防車が先に出動させていただいて、応急手当、応急処置をさせていただくという活動をさせていただいております。</p> <p>委員長 流山の救急車が来るという事案も広域運用の一つということでしょうか</p> <p>警防課長 おっしゃるとおりで応援協定がございまして、流山市、柏市から一番近くにいる救急車が出動するという応援協定を結んでおります。</p> <p>委員長 野田市は人口何万人でしたっけ。</p> <p>警防課長 15 万人です</p> <p>委員長 15 万人で 7 台。基準はしっかり満たしているのですね。</p>
--	--

	<p>警防課長 国の基準では6台。それにプラスして日勤救急車1台を令和3年から運用させていただいております。</p> <p>委員長 それでも厳しいということですね。時間帯によっては厳しいと。</p> <p>委員 消防救急車の基準につきましては先ほど申し上げたとおり、6台プラス日勤1台ということで運用しておりますが、去年の年末年始、コロナやインフルエンザが同時多発という場合、あとは時間によって、夏場の熱中症だとお昼前あたりに集中して遅れてしまう等の時間帯がございまして、その搬送をした際の病院の受け入れ体制もあるのですが、野田市の地理的要件がございまして、合併後、縦長の地形ということで、搬送時間がかかる。</p> <p>あと、3次救急病院がないため、柏の慈恵医大か松戸の総合医療センター等に搬送してしまうとどうしても3時間救急といって帰って来られない時間帯も出てきてしまう。</p> <p>それで市議員からも搬送のことでご質問いただいておりますが、今、市長副市長と協議しておりますが、どこの地区が一番救急搬送が多いのか、また、消防車の配置はどうかなど、野田市全体を見据えた中で強化していく方法を考えていくということで、今まさに検討しているところでございます。</p> <p>委員長 本委員会の意見としても、ぜひ救急のひっ迫というものを、総合的に対策をしていただきたいと要望を伝えておきます。</p> <p>救急車を使わないで、電話とかでうまく処理するっていうことも含めて、総合的な対策をぜひよろしく願いいたします。</p> <p>委員長 <他に意見はないか確認する> <意見なし></p> <p>委員長 <閉会を宣言した></p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	--